

NEWS RELEASE



セブン&アイ HLDGS.

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

2008年5月27日

簡易包装になりました。

商品を傾けないよう、取り扱いにご注意下さい



セブン-イレブン全店でプラスチック原料を年間に約570t削減 弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更 ～5/29（木）より北海道地区へ順次拡大～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、弁当の包装形態を“ラップ包装”から“テープ止め”に順次変更しており、このたび、2008年5月29日（木）より北海道地区へ拡大してまいります。

現在、弁当における包装形態の変更は、全国において約5,000店舗まで導入が進んでおります。今回拡大する北海道においては、まず、函館・北見・帯広・釧路地区より導入し、6月6日（金）に道内全店への展開が終了する予定です。

包装形態変更の取り組みは、環境負荷の低減および弁当の見た目や選びやすさの向上を目的に、2007年3月よりテストを重ねてまいりました。配送中の荷崩れや売場での安定陳列等に対応するため、容器の変更やテープの改善を行った上で、このたびの弁当簡易包装の実現にいたりました。

これにより、プラスチック原料を年間にセブン-イレブン全店で約570t削減することが可能になり、レジ袋に換算すると現使用量の約5%削減と同等の効果が見込まれることになります。

セブン-イレブン・ジャパンでは、環境問題対策等の社会的責任を遂行するとともに、安全・安心を第一とした商品開発を推進してまいります。



<変更前>

ラップ（フルシュリンクラップ）包装

<変更後>

テープ止めのみ

<新包装形態弁当について>

◇道内展開スケジュール

5/29 (木)	函館・北見・帯広・釧路	238 店
6/3 (火)	旭川	111 店
6/6 (金)	札幌	465 店
		合計 814 店

※2009年2月迄にセブン-イレブン全店での展開を予定。

◇内 容 弁当の包装形態を、現状の“ラップ（フルシュリンクラップ）包装”から『テープ止め』へ変更

◇目 的 ○環境負荷を低減
○弁当の見易さ、選びやすさとともに、手作り感、できたて感を訴求
○“コンビニ弁当はゴミが多い”というお客様のイメージを改善

◇対応事項 ①フタや容器（受皿部分）の構造を改良
⇒フタと容器のかみ合わせ部分の構造を改良し、密閉性を向上。
また、フタと容器を固定するテープの見直しも合わせて実施。

②弁当容器のフタと底面の形状を変更
⇒容器のフタと底面に凸凹をつけ、上下がかみ合うようにすることで、
配送効率と売場での陳列を改善。

③配送時の工夫
⇒弁当やおにぎり等、弁当配達用ケースへの詰め方を工夫し、
安定感のある配達を実施

◇環境負荷低減

○今回の取り組みにより年間約570tのプラスチック原料を削減
レジ袋5%削減と同一効果に

以 上